

「平成 27 年度 渡島管内学校図書館活性化推進事業」事業報告【渡島】

学校図書館の効果的な活用や魅力ある学校図書館づくりなどを目的として、学校図書館担当者等を対象に研修を行いました。

本研修は、各市町教育委員会社会教育及び公立図書館(室)の担当者を対象とした「第 1 回社会教育指導会議」(渡島教育局主催)を兼ねるとともに、渡島学校図書館協議会、函館市学校図書館研究会の後援を得ることで、学校図書館と教育委員会担当者との交流の機会にもなりました。

32 名が参加し、子どもにとって一番身近な図書館である学校図書館のより一層の充実をおし子どもの読書活動推進について研修を深めることができました。

【研修会概要】

- 1 日 時：平成 27 年 8 月 7 日 (金) 10:00～16:00
- 2 会 場：森町立森小学校
- 3 研修内容：

【講 義】「今、求められる学校図書館」

- ◆講師：野村 邦重氏 (全国学校図書館協議会スーパーバイザー)
- ◆内容：
 - 絵本や本、読書の効果について
 - ・「世界を知る力」、「人間を知る力」、「人生を変える力」、「自分を知る力」、「他人を知る力」、「創造する力」、「論理的に物事を考える力」、「情緒力」、「主権者＝国民を育てる力」の 9 つの本の力が子どもを育てる。
 - 学校図書館の現状と課題
 - ・本年 4 月から施行された学校図書館法の改正を踏まえた学校運営が必要である。
 - ・渡島管内の学校図書標準達成状況等
 - 法改正等により、学校図書館の機能の充実が更に求められ、重要性が増している。

【説明・質疑】「学校図書館の有効的な活用」

- ◆講師：油野 桂子氏 (松前町立松城小学校事務職員)
- ◆内容：
 - 松前町立小学校 3 校での実践を紹介
 - ・廃棄図書の選別等の本の分類整理
 - ・児童に合わせたレイアウトの事例
 - 町立図書館との連携
 - ・本の借り入れ
 - ・町立図書館による読み聞かせ
 - 児童の取組
 - ・児童による読み聞かせ
 - ・図書館クイズなどの工夫
 - アンケート等により児童・教師・司書の要望や考えを持ち寄り、様々な工夫を取入れた子どもが来なくなる学校図書館を実現する。

【説明・演習】「魅力ある学校図書館づくり」

- ◆講師：中田 こずえ氏 (道立図書館企画支援課企画主幹)
- ◆内容：
 - 子どもの読書活動の推進への関連法や計画について
 - ・子どもの読書活動の推進に関する法律
 - ・学校図書館法
 - ・小学校学習指導要領解説総則編
 - ・学校図書館図書廃棄基準 等
 - 学校図書館づくりについて
 - ・図書の除架や面出し等のレイアウトの演習
 - 学校図書館の有効活用のための理論研修と会場校の図書館を会場に除架の演習を行うことによって、より効果的な学校図書館の活用方法についての理解が深まった。

《義務教育指導班小田指導主事からの助言》

- ・授業における計画的な学校図書館の活用が重要であること。
- ・特に国語科における言語活動の充実のほか、社会科、総合的な学習での調べ学習などでの学校図書館の活用が大切であること。
- ・図書担当者と学級担任との連携や学校全体での読書活動の推進が求められていること。



《「協議」とアンケートから参加者の感想等》

- ・明日から実践できそうな事例で参考になった。
- ・学校司書の存在により学校図書館が充実できると感じた。
- ・様々な職種の方の話が聞けてよかった。
- ・学校司書・PTA・司書教諭の役割分担のイメージがもてた。